

d. 福 社

▼デイサービス・センターを増設します。

既存の3カ所に加え、12年度までにさらに4カ所(真中または二井田/下川沿/老人福祉総合エリア内/大館)に整備を進めます。

▼在宅介護支援センターを増設します。

既存の2カ所に加え、12年度までにさらに3カ所(大館/真中または二井田もしくは下川沿/老人福祉総合エリア内)に整備を進めます。

▼特別養護老人ホームを増設します。

既存の2カ所に加え、12年度までにさらに老人福祉総合エリア内に整備します。

▼新たにケアハウスを導入します。

高齢者のケアに配慮しつつ、自立した生活の確保を目指した、新たなタイプの軽費老人ホーム「ケアハウス」を、老人福祉総合エリア内に整備します。

▼老人保健施設を増設します。

既存の2カ所に加え、新たに老人福祉総合エリア内に整備を進めます。

▼老人訪問看護ステーションを増設します。

既存の1カ所に加え、さらに2カ所(花岡/老人福祉総合エリア内)に整備を進めます。

▼秋田県北部老人福祉総合エリア(仮称)を整備します。 (11年度一部施設オープン予定)

県北の福祉施策の核。十二所地区に設置します。前記の施設を集積する形で整備するとともに、「世代交流関連施設」「生きがい関連施設」「健康増進施設」等のハードおよびソフトの整備を合わせて推進します。

▼勤労者総合福祉センター(仮称)[A型]を設置します。

勤労者の福祉施設「大館勤労者総合福祉センター(仮称)[A型]」を、大館地域職業訓練センターの隣接地に整備を進めます。

e. 公 園

▼都市公園の増設を推進します。

既設の都市公園に加えて、新たな都市公園について都市計画決定を行い、早期に整備します。

▼長木川河川公園の整備を推進します。

水と緑が楽しめる市民のスポーツ・レクリエーションの場として整備を続けていきます。また、兩岸の堤防は、長根山運動公園や二ツ山総合公園との有機的連携を図るとともに、市街地を東西に結ぶ路線として活用するため、道路整備を推進します。

▼二ツ山総合公園の整備を推進します。

市民の憩いの場として、あるいは次世代を担う子供たちの情緒を創造させていく場として、その整備を進めていきます。

② 具体的に何

c. スポーツ・レクリエーション

▼大館地区多目的ドーム(仮称)を建設します(9年6月完成予定)。

▼長根山運動公園を再整備します。

▼大館矢立ハイツ周辺をミニリゾート化します。

昭和55年に設置された勤労者保養施設「大館矢立ハイツ」を、社会環境の変化に応じる形で増改築を実施しました。同時に、ハイツ隣接地に24時間利用可能なトイレと情報提供機能を有する休憩所を備えた駐車場を造成、整備しています。この駐車場は昨年、建設省の「道の駅」に指定されました。

天然秋田杉林に囲まれたこの施設を矢立峠の核と位置付け、周辺の矢立温泉、日景温泉と林間遊歩道でネットワークさせることによって、自然資源を活用した健康・レクリエーションエリアを創出します。

▼長走風穴・芝谷地をエコ・ミュージアム(野外博物館)化します。

「長走風穴高山植物群落(国指定天然記念物)」は、国見山西側の標高わずか180メートルのところ位に位置しています。これは、現代、そのような低位面では通常観察できないとされる高山植物が、天然の冷風により群生しているものです。

一方、「芝谷地湿原植物群落(国指定天然記念物)」は、市街地近郊にありながらも、植物学上の高い価値を有する湿原植物が群生しているものです。

これら天然記念物を保護しながら、市民の学習の場としての活用を積極的に図っていきます。また、これらを結ぶ国道7号に沿う形で残っている「羽州街道」「天下道」を軸として、その沿線の歴史遺構や現代の新しい施設と結び付けていくことによって、自然と施設を市民が楽しく散策できる遊歩道を整備し、新たな健康・レクリエーションエリアを創出します。

▼健康・スポーツ・レクリエーションエリアを有機的にネットワークします。

市域全体に分散する健康・スポーツ・レクリエーションエリアの、計画的な連携を図ります。また、それらのネットワークの中に、市内に多数存在する温泉を組み込むことによって、大館市全体を「ケアハウス」化し、観光要素としても積極的にPRしていきます。

一方、これは緑空間(オープンスペース)のネットワークでもあることから、市民生活の快適性と防災性を兼ね備える軸としても積極的に機能させていきます。